

<事業名> 八木城跡で地域交流を始めよう

団体名	八木城跡町づくり会
所在地	養父市八鹿町
代表者名	小林 博紀

事業内容	<p>国の史跡である八木城跡群で行われる行事に参加することが、地元の歴史に触れることとなり、それが郷土を想う心豊かな人材を育成する。</p> <p>1 (納涼祭り) ライブは地元の歴史にふれる良い機会になった。</p> <p>日時 7月31日 夕方 場所 八木城跡 内容 ご当地の歌指導、花火、地元特産物屋台、ゴム玉すくい 人数 およそ200人(受付簿による)</p> <p>2 秋の城上がり(登山) 日時 11月28日 場所 八木城跡 内容 城跡登山(探訪) 人数 およそ80人</p>																				
	地域	主に養父市、但馬全域																			
事業の効果	<p>① 団体(組織)内の効果 地元に史跡が存在し、その保存活動を広く地元のケーブルテレビ(映像)で流した。</p> <p>コロナ禍において、観光協会、全但バス、(株)ピーナツなどと連携し、初めて(試験的)オンラインツアーを実施し、28日の城上がり参加者に繋がった(PR効果あり)</p> <p>② 地域への効果 城跡を観て、但馬における中世の防御態勢が理解できた。また地元の農産物を活かしたお土産づくりにも気を配り、少しでも地域貢献ができた。</p>																				
	事業経過	<table border="1"> <tr> <th>年 月 日</th> <th></th> </tr> <tr> <td>7月 1日</td> <td>役員会</td> </tr> <tr> <td>7月30日</td> <td>会場設営(トイレ設置)</td> </tr> <tr> <td>7月31日</td> <td>当日(納涼祭り) 参加者およそ200名</td> </tr> <tr> <td>8月 1日</td> <td>会場かたづけ</td> </tr> <tr> <td>8月 6日</td> <td>史跡群、映像収録</td> </tr> <tr> <td>8月29日</td> <td>山城保全作業(主に草刈り)</td> </tr> <tr> <td>10月31日</td> <td>登山道にベンチ据え付け(6基)</td> </tr> <tr> <td>11月 6日</td> <td>オンラインツアー実施(映像)</td> </tr> <tr> <td>11月28日</td> <td>秋の城上がり 参加者およそ80名</td> </tr> </table>	年 月 日		7月 1日	役員会	7月30日	会場設営(トイレ設置)	7月31日	当日(納涼祭り) 参加者およそ200名	8月 1日	会場かたづけ	8月 6日	史跡群、映像収録	8月29日	山城保全作業(主に草刈り)	10月31日	登山道にベンチ据え付け(6基)	11月 6日	オンラインツアー実施(映像)	11月28日
年 月 日																					
7月 1日	役員会																				
7月30日	会場設営(トイレ設置)																				
7月31日	当日(納涼祭り) 参加者およそ200名																				
8月 1日	会場かたづけ																				
8月 6日	史跡群、映像収録																				
8月29日	山城保全作業(主に草刈り)																				
10月31日	登山道にベンチ据え付け(6基)																				
11月 6日	オンラインツアー実施(映像)																				
11月28日	秋の城上がり 参加者およそ80名																				

協働の相手方	兵庫県、養父市、観光協会、老人クラブ、自治協
今後の課題等	<p>〈事業を実施する上での課題〉</p> <p>① 団体（組織）の課題</p> <p>特筆事項なし</p> <p>② 地域の課題</p> <p>無関心層に動機付けをどのようにして仕組むか（仕組み作り）</p> <p>〈令和4年度以降の事業計画〉</p> <p>殿屋敷の整備がほぼ終了、完成行事を計画する。</p>



3年7月31日 納涼祭り 八木城跡にて